

あかいけ

1

発行／赤池町役場 〒822-1193 福岡県田川郡赤池町大字赤池970番地の2 ☎0947(28)2004 編集／総務課

No.444



謹んで新春の
お慶びを申し上げます

迎春

雪の白糸



むかし、僧に姿を変え住処を探し求めた龍は、美しい上野峽がとても気に入り「白糸の滝」に住むことにしました…。数年後、成長した龍は滝壺が窮屈になったので、しかたなく「菅生の滝」(北峠)に移り住みましたが、上野の村人が日照りで困ったときお願いに行くと、必ず雨を降らせたといひます。今も語り継がれる心和むお話です。さあ、記念すべき2000年のスタート。みなさまにとって、昇龍のごとく天高く飛躍する年となりますように…

旋律

誰もが「いい年になるように」と願う元日の朝。この一年どう過ごそうかと目標や計画を立てる人は多いはず。人は多いはずです。

「禁煙、節酒、ダイエット…」皆さんはどんな計画を立てましたか？ 新年を迎えて気持ちも新たに「今年もやるぞ」という意気込みが湧いてくるでしょう▼ところが一か月もしないうちに元日の朝の気持ちはすっかり忘れてしまっています。「一年の計は春にあり、一月の計は朔にあり、一日の計は鶏鳴にあり」戦国武将毛利元就の言葉です。一年、一か月、そして一日の初め、いずれも重要です。元日だけを特別視して計画を立てるのではなく、日々元日の朝を迎える時のように、新たな気持ちを持ち、やる気に燃える事が大切です▼今年、毎日何か一つずつでも目標を立て、一日一日を過ごしてみませんか？ ささやかな目標達成でも、積み重ねれば大きな財産。振り返ったとき、きつと充実した一年を振り返ることができよう。

今年のテーマは「女性問題」 人権を語る夕べ

「人権を語る夕べ」が12月6日に同和対策中央研修所で開催されました。

女性問題「男と女の、過去・現在・未来」というテーマでのパネルディスカッション。6名のパネリストがそれぞれの立場で活発な意見を述べました。

コーディネーターの県立大学森山浩一教授は「21世紀は愛と癒しの時代。女性の社会化・男性の家庭化が必要です」と、力強く語りました。



最終ランナーゴール



ハフハフ



がんばりました優勝7区チーム

順位	チーム名	タイム
1	7区	41分22秒
2	磯部(オーブ)	40分30秒
3	大浦	42分09秒
4	9支所	43分17秒
5	18支所	44分02秒
6	5区	45分22秒
7	3区	45分52秒
8	赤池(オーブ)	45分56秒
9	1617支所	46分23秒
10	4区	46分26秒
11	伏原	47分49秒
12	8区	47分49秒
13	生力NT	48分37秒
14	22支所(オーブ)	48分58秒
15	11支所	51分22秒



「それっ！スタートだ」

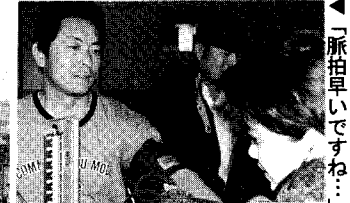


「選手宣誓、伏原の元吉達也くも藤重季恵え」



「まだかな...」

上野橋での激戦



「脈拍早いぞね...」



「さあ来い！」



▲ご協力ありがとうございます



準備体操は念入りに

「菜の花」を読んだ感想... 私、この菜の花という話、とっても好きです。でも、差別はいけないと思います。昔は、「土農工商」という身分制度があったそうです。この「土農工商」の人は、酒屋さんの敷居をまたごしてもいいのですが、その「土農工商」より低い身分の人は、またごしてはいけないという差別でした。そして、庄七はカクウチ酒という、酒屋さんの中で飲むお酒を一度、いいからしてみなかつたのです。その庄七は、勇気のある人でしたから「うち首ごくもん」というのも覚悟でカクウチ酒をしてみました。庄七は捕まりました。そして、川原に連れて行かれ、首を切られました。こんなことは、許されるでしょうか。人間として当然の願いも叶えられないとはひどいことだと思えます。私は、許されることじゃないと思えます。

「一枚のはがき」を読んだ感想... 私はおばあちゃんの家にとまって、はがきを待ったのはきつと一枚のはがきへの気持ち。が深かったからだと思えます。はがきが届いたのを見て、出てきた涙は、今までの悲しい涙じゃなくて、うれしい涙だと思えました。

小学生の人権作文を「紹介します」... 「菜の花」を読んだ感想... 私、この菜の花という話、とっても好きです。でも、差別はいけないと思います。昔は、「土農工商」という身分制度があったそうです。この「土農工商」の人は、酒屋さんの敷居をまたごしてもいいのですが、その「土農工商」より低い身分の人は、またごしてはいけないという差別でした。そして、庄七はカクウチ酒という、酒屋さんの中で飲むお酒を一度、いいからしてみなかつたのです。その庄七は、勇気のある人でしたから「うち首ごくもん」というのも覚悟でカクウチ酒をしてみました。庄七は捕まりました。そして、川原に連れて行かれ、首を切られました。こんなことは、許されるでしょうか。人間として当然の願いも叶えられないとはひどいことだと思えます。私は、許されることじゃないと思えます。

赤池中3年 田代香織さん... 「男女差別について」... 私はたまに「女のくせに」という言葉を耳にする。聞く度にムカムカする。女だから劣っているというのだろうか。確かに体力の面では、女性の方が男性より劣っていると思う。しかし、女性も男性に負けない位頑張っているのだ。日本の産業が発達したのは、苦しい労働条件にもかかわらず、一生懸命働いていた女性の努力の結晶だと私は思う。この女性達がいなければ、今の日本はなかっただろう。今の日本には、その様な事はないが、女性は一生懸命働いている。しかし、男性の中には、女性の努力を認めてくれない人がいる。どうして女性の努力を認めてくれない

赤池中3年 田代香織さん... 「男女差別について」... 私はたまに「女のくせに」という言葉を耳にする。聞く度にムカムカする。女だから劣っているというのだろうか。確かに体力の面では、女性の方が男性より劣っていると思う。しかし、女性も男性に負けない位頑張っているのだ。日本の産業が発達したのは、苦しい労働条件にもかかわらず、一生懸命働いていた女性の努力の結晶だと私は思う。この女性達がいなければ、今の日本はなかっただろう。今の日本には、その様な事はないが、女性は一生懸命働いている。しかし、男性の中には、女性の努力を認めてくれない人がいる。どうして女性の努力を認めてくれない

赤池中3年 田代香織さん... 「男女差別について」... 私はたまに「女のくせに」という言葉を耳にする。聞く度にムカムカする。女だから劣っているというのだろうか。確かに体力の面では、女性の方が男性より劣っていると思う。しかし、女性も男性に負けない位頑張っているのだ。日本の産業が発達したのは、苦しい労働条件にもかかわらず、一生懸命働いていた女性の努力の結晶だと私は思う。この女性達がいなければ、今の日本はなかっただろう。今の日本には、その様な事はないが、女性は一生懸命働いている。しかし、男性の中には、女性の努力を認めてくれない人がいる。どうして女性の努力を認めてくれない



福岡県法務局、福岡県人権擁護委員主催の「全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会」で福岡県教育委員会賞を受賞した人権作文です。受賞した赤池中3年田代香織さん

赤池中3年 田代香織さん... 「男女差別について」... 私はたまに「女のくせに」という言葉を耳にする。聞く度にムカムカする。女だから劣っているというのだろうか。確かに体力の面では、女性の方が男性より劣っていると思う。しかし、女性も男性に負けない位頑張っているのだ。日本の産業が発達したのは、苦しい労働条件にもかかわらず、一生懸命働いていた女性の努力の結晶だと私は思う。この女性達がいなければ、今の日本はなかっただろう。今の日本には、その様な事はないが、女性は一生懸命働いている。しかし、男性の中には、女性の努力を認めてくれない人がいる。どうして女性の努力を認めてくれない

赤池中3年 田代香織さん... 「男女差別について」... 私はたまに「女のくせに」という言葉を耳にする。聞く度にムカムカする。女だから劣っているというのだろうか。確かに体力の面では、女性の方が男性より劣っていると思う。しかし、女性も男性に負けない位頑張っているのだ。日本の産業が発達したのは、苦しい労働条件にもかかわらず、一生懸命働いていた女性の努力の結晶だと私は思う。この女性達がいなければ、今の日本はなかっただろう。今の日本には、その様な事はないが、女性は一生懸命働いている。しかし、男性の中には、女性の努力を認めてくれない人がいる。どうして女性の努力を認めてくれない

赤池中3年 田代香織さん... 「男女差別について」... 私はたまに「女のくせに」という言葉を耳にする。聞く度にムカムカする。女だから劣っているというのだろうか。確かに体力の面では、女性の方が男性より劣っていると思う。しかし、女性も男性に負けない位頑張っているのだ。日本の産業が発達したのは、苦しい労働条件にもかかわらず、一生懸命働いていた女性の努力の結晶だと私は思う。この女性達がいなければ、今の日本はなかっただろう。今の日本には、その様な事はないが、女性は一生懸命働いている。しかし、男性の中には、女性の努力を認めてくれない人がいる。どうして女性の努力を認めてくれない

赤池中3年 田代香織さん... 「男女差別について」... 私はたまに「女のくせに」という言葉を耳にする。聞く度にムカムカする。女だから劣っているというのだろうか。確かに体力の面では、女性の方が男性より劣っていると思う。しかし、女性も男性に負けない位頑張っているのだ。日本の産業が発達したのは、苦しい労働条件にもかかわらず、一生懸命働いていた女性の努力の結晶だと私は思う。この女性達がいなければ、今の日本はなかっただろう。今の日本には、その様な事はないが、女性は一生懸命働いている。しかし、男性の中には、女性の努力を認めてくれない人がいる。どうして女性の努力を認めてくれない

赤池中3年 田代香織さん... 「男女差別について」... 私はたまに「女のくせに」という言葉を耳にする。聞く度にムカムカする。女だから劣っているというのだろうか。確かに体力の面では、女性の方が男性より劣っていると思う。しかし、女性も男性に負けない位頑張っているのだ。日本の産業が発達したのは、苦しい労働条件にもかかわらず、一生懸命働いていた女性の努力の結晶だと私は思う。この女性達がいなければ、今の日本はなかっただろう。今の日本には、その様な事はないが、女性は一生懸命働いている。しかし、男性の中には、女性の努力を認めてくれない人がいる。どうして女性の努力を認めてくれない

赤池中3年 田代香織さん... 「男女差別について」... 私はたまに「女のくせに」という言葉を耳にする。聞く度にムカムカする。女だから劣っているというのだろうか。確かに体力の面では、女性の方が男性より劣っていると思う。しかし、女性も男性に負けない位頑張っているのだ。日本の産業が発達したのは、苦しい労働条件にもかかわらず、一生懸命働いていた女性の努力の結晶だと私は思う。この女性達がいなければ、今の日本はなかっただろう。今の日本には、その様な事はないが、女性は一生懸命働いている。しかし、男性の中には、女性の努力を認めてくれない人がいる。どうして女性の努力を認めてくれない

赤池中3年 田代香織さん... 「男女差別について」... 私はたまに「女のくせに」という言葉を耳にする。聞く度にムカムカする。女だから劣っているというのだろうか。確かに体力の面では、女性の方が男性より劣っていると思う。しかし、女性も男性に負けない位頑張っているのだ。日本の産業が発達したのは、苦しい労働条件にもかかわらず、一生懸命働いていた女性の努力の結晶だと私は思う。この女性達がいなければ、今の日本はなかっただろう。今の日本には、その様な事はないが、女性は一生懸命働いている。しかし、男性の中には、女性の努力を認めてくれない人がいる。どうして女性の努力を認めてくれない



人権旬間中の啓発ポスター

まちの話題

▶地区公民館活動にも熱心な坂元さん

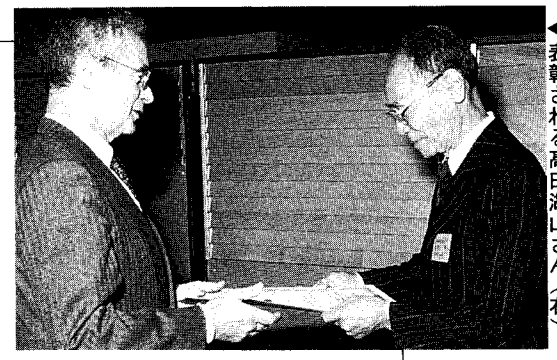


●坂元重正氏交通安全功労者表彰
福岡県交通安全県民大会が11月12日に福岡市で行われ、坂元重正さん(板取が県警察本部長・県交通安全協会長賞を受賞しました。坂元さんは、長年にわたり町内の交通安全活動に尽力され、現在は田川交通安全協会赤池支部長として活動しています。表彰おめでとうございます。



▶「町のためにがんばり手」と評される

●新固定資産評価審査委員に城野博憲氏
町議会の選任により11月30日付けで、固定資産評価審査委員に城野博憲さん(常福)が任命されました。任期は3年です。よろしくお願ひします。



▶表彰される高田湖山さん(右)

●高田湖山氏日仏芸術二千年祭で表彰
世界に誇る伝統美炎の芸術上野焼
11月15日にフランスのリヨン市で開催された「日仏芸術二千年祭リヨン'99」で、高田湖山(天郷)が在リヨン日本名誉総領事賞とオーデトリウム賞を受賞しました。国内審査を通過した花瓶(法・虫喰蝋)が世界の芸術家たちを魅了。欧州各国で展示されました。まさに郷土が誇る伝統工芸品、上野焼の魅力は世界でも認められました。



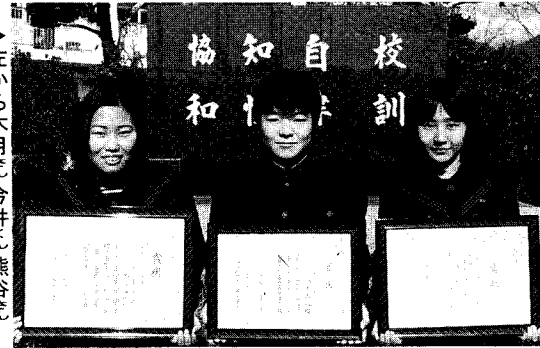
▶発表者に盛大な拍手が贈られる

●青少年健全育成大会「わたしの主張」
子どもたちの立場になって聴きました
青少年健全育成大会「わたしの主張」が、11月23日に同和対策中央研修所で開催されました。7人の小中学生が日頃感じたことや、思っていることを素直に表現していました。2月19日に同和対策中央研修所で開催される青少年健全育成田川地区大会に、代表として太田絢子さん(上野小6年)が発表します。

▶サインを手渡す横綱武蔵丸関



●武蔵川部屋力士御一行ふれあい大会
おすもうさんって大きいなー
武蔵川部屋力士御一行ふれあい大会が11月26日町民グラウンドで行われました。九州場所優勝の横綱武蔵丸関をはじめ大関出島、小結武双山、前頭雅山と和歌乃山が参加。約二千人分のチャankoが児童生徒には無料で、一般にはチャティー募金を呼びかけ、振る舞われました。益金は主催の町おこしの会より町教育委員会に寄付されました。ありがとうございます。



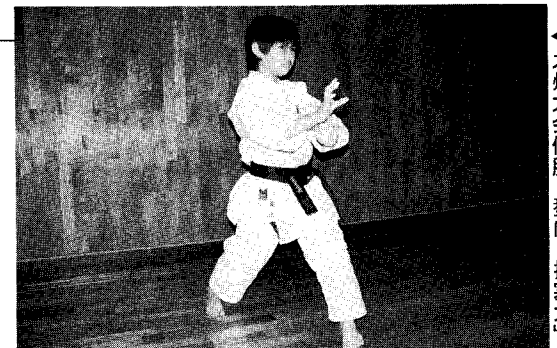
▶左から木月えみ今井ふたば熊谷え

●納税作文・標語表彰
納税はみんなの未来のみちしるべ(入選標語)
全国納税貯蓄組合連合会が募集した中学生の「税の作文」で、田川税務所管内(田川市郡)13校、615編の作文が寄せられました。赤池中学校から今井大器君(2年)が作文「二十一世紀の税」で田川税務署長賞に選ばれました。熊谷慶子さん(2年)も入選、標語では木月由佳さん(3年)が入選しました。皆さんおめでとうございます。



▶「こうやって」と、手解き

●四区レクリエーション大会
おじいちゃんおばあちゃんに挑戦だー
四区のレクリエーション大会が11月21日に上野小学校グラウンドで行われました。気持ち良い秋晴れのもとゲートボールやレクリエーションで地域の交流を深めました。おじいちゃんおばあちゃんがお孫さんに手解きをするシーンもみられました。地域が元氣だと、町はとっても元氣です。



▶九州大会優勝、型は「抜塞大」

●九州地区選抜空手道選手権大会優勝
がんばりました女流拳士大活躍
九州地区選抜空手道選手権大会が11月14日に長崎県大村市で開催されました。九州各県から選抜された選手21人の中から繁永恵美香さん(上野小4年)が小学生低学年女子型の部で優勝しました。今年是全国大会で入賞し、静岡県で開催される世界大会への出場を目指します。

▶優勝した松尾チームの皆さん



●アサヒ緑健杯ゲートボール大会優勝
ほがらかムードでチームワークの勝利
11月11日に北野町で行われたアサヒ緑健杯ゲートボール大会で72チーム参加のなか、筑豊地区代表として出場した松尾チーム(尾崎さん、山本さん、山本さん、沼田さん、原さん)が見事優勝しました。優勝賞品の10万円旅行券は「二部を連盟や支部に寄付し、残りでチームの慰労会を行います」とニコリ。チームワークの良さが優勝しました。



▶監督、重くてあがらないよー

●中間市中学校野球大会
一人ひとりが役割を完全にこなしました
中間市中学校野球大会(中間市主催)が11月13・14日に行われました。県内の強豪16チーム出場する中、赤池中学校野球部が優勝しました。同部は、7月の田川地区中学校夏季野球大会でも優勝しており、主将の池田竜一君(2年)は「自信ができました。次の目標は県大会出場です」と意気込みを語りました。マナーと礼儀を大切にす赤池中野球部です。